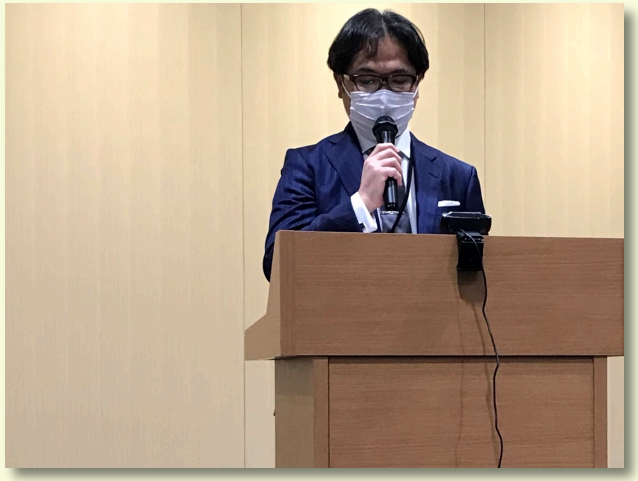
全国信用組合連合会 新現役交流会
2021.12.2

全国信用組合連合会(全信組連)主催による新現役交流会が2021年12月2日、東京京橋の本部7階ホールにて開催されました。

全信組連による新現役交流会は本年3月2日の関東圏開催に続き、全国展開への一歩となる第二回目の開催になります。



森貞理事の挨拶でスタート

　前回は二次面談と中小企業119へとマッチング率が交流会開始以来、初の100%となり驚異的な実績があがりました。 これらの実績を踏まえ全信組連は、全国の信用組合に参加をよびかけ、SKSは企業課題をより明確/立体的に新現役にご理解いただけるようヒヤリング技術に一層の向上を図ってヒヤリングシートを作成するなど熱の入った取組を実施いたしました。北海道から九州まで参加企業は20社、新現役は70名、総面談は 111となりました。コロナ対策のため、新現役は会場に用意されたパソコンから企業と担当信用組合支店長に面談するオンライン形式となりましたが9:30~17:00まで双方熱心に画面に向き合い、面談を重ねました。(午前10企業60面談 午後10企業 51面談)

面談の様子

全信組連、 内藤理事長 柳沢副会長(全信中協会長)をはじめ金融庁、中小機構、全国中小企業団体中央会の各御担当者がご来場され、熱心にご見学されるとともにSKS代表理事保田と熱心な意見交換が行われ、日本金融通信社、信用組合新聞の取材も行われました。

面談を見守る保田代表理事

文 = 野澤